

図5

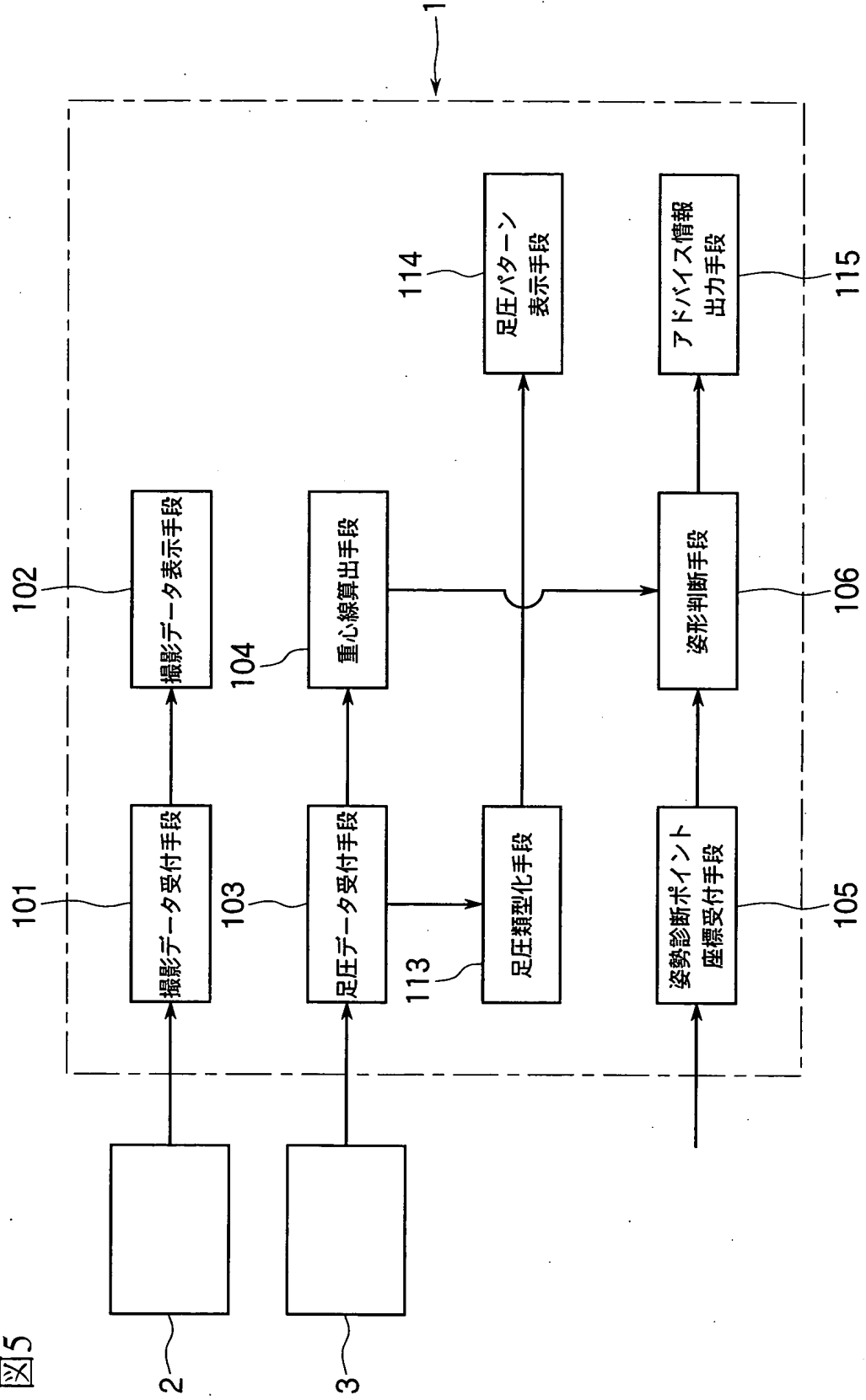


図6

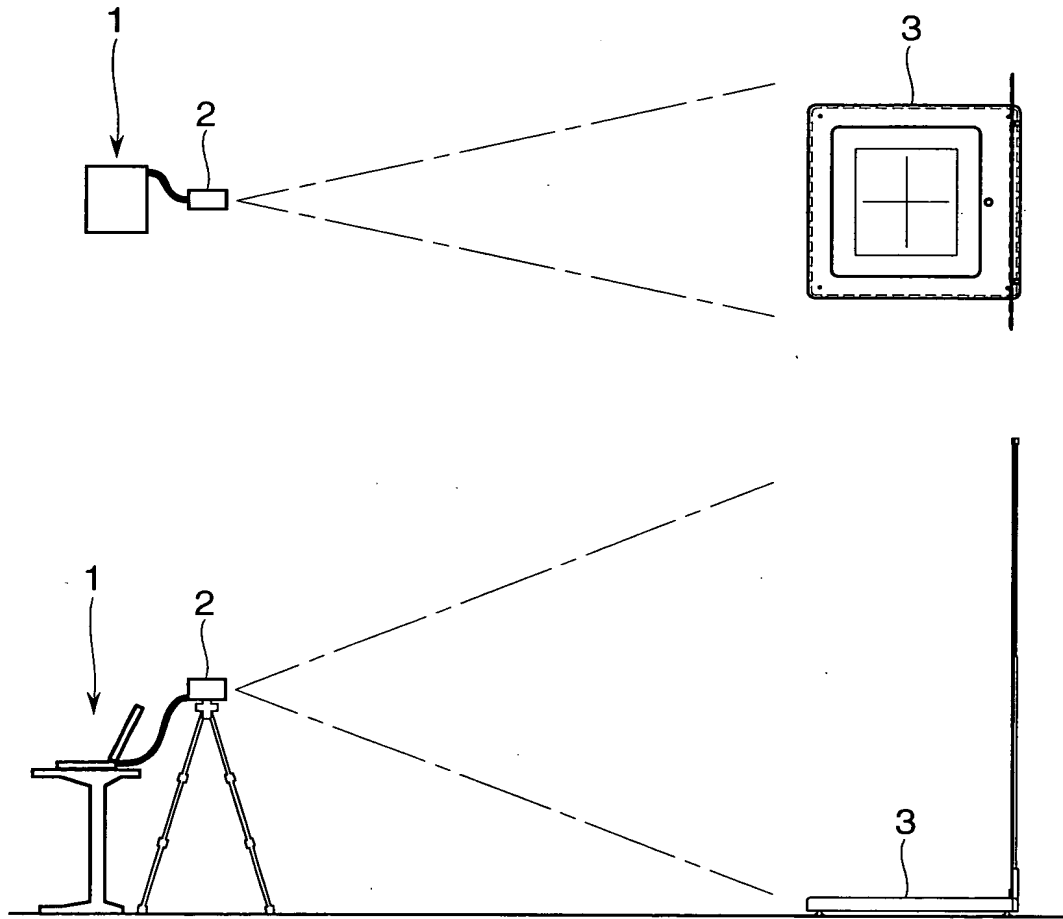


図7

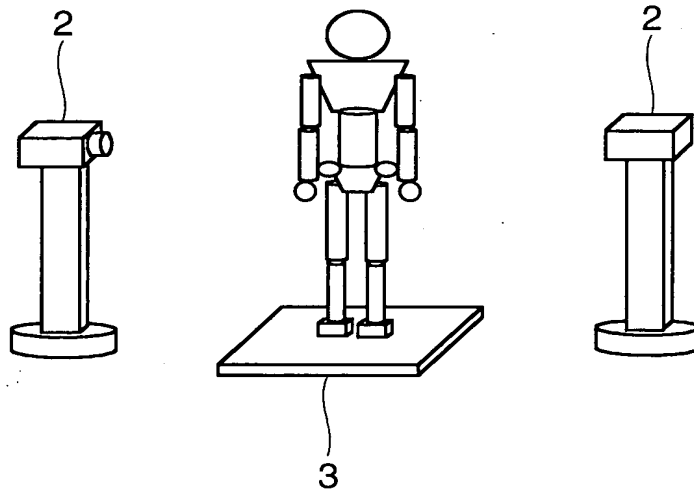


図8

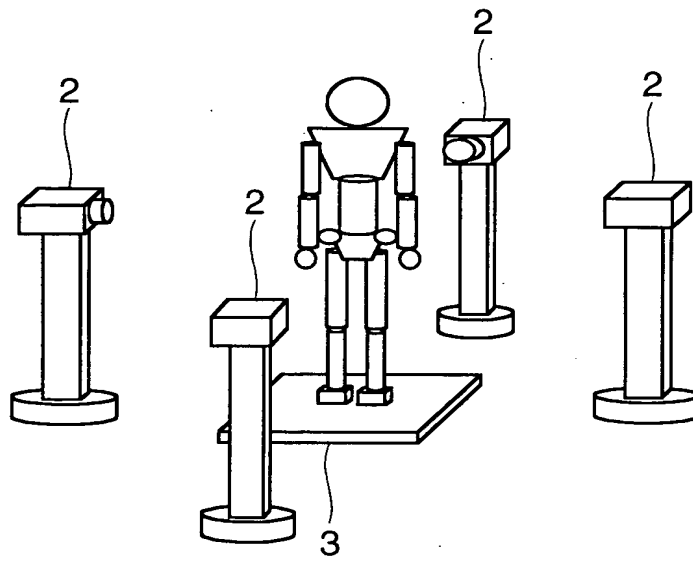


図9

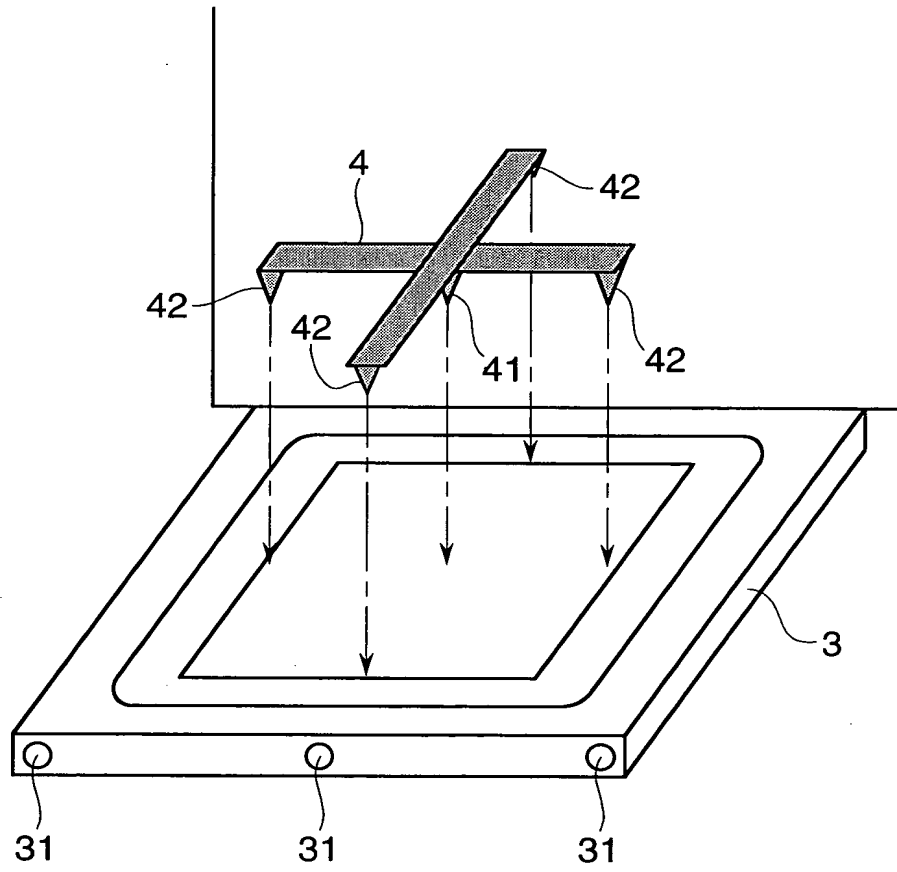
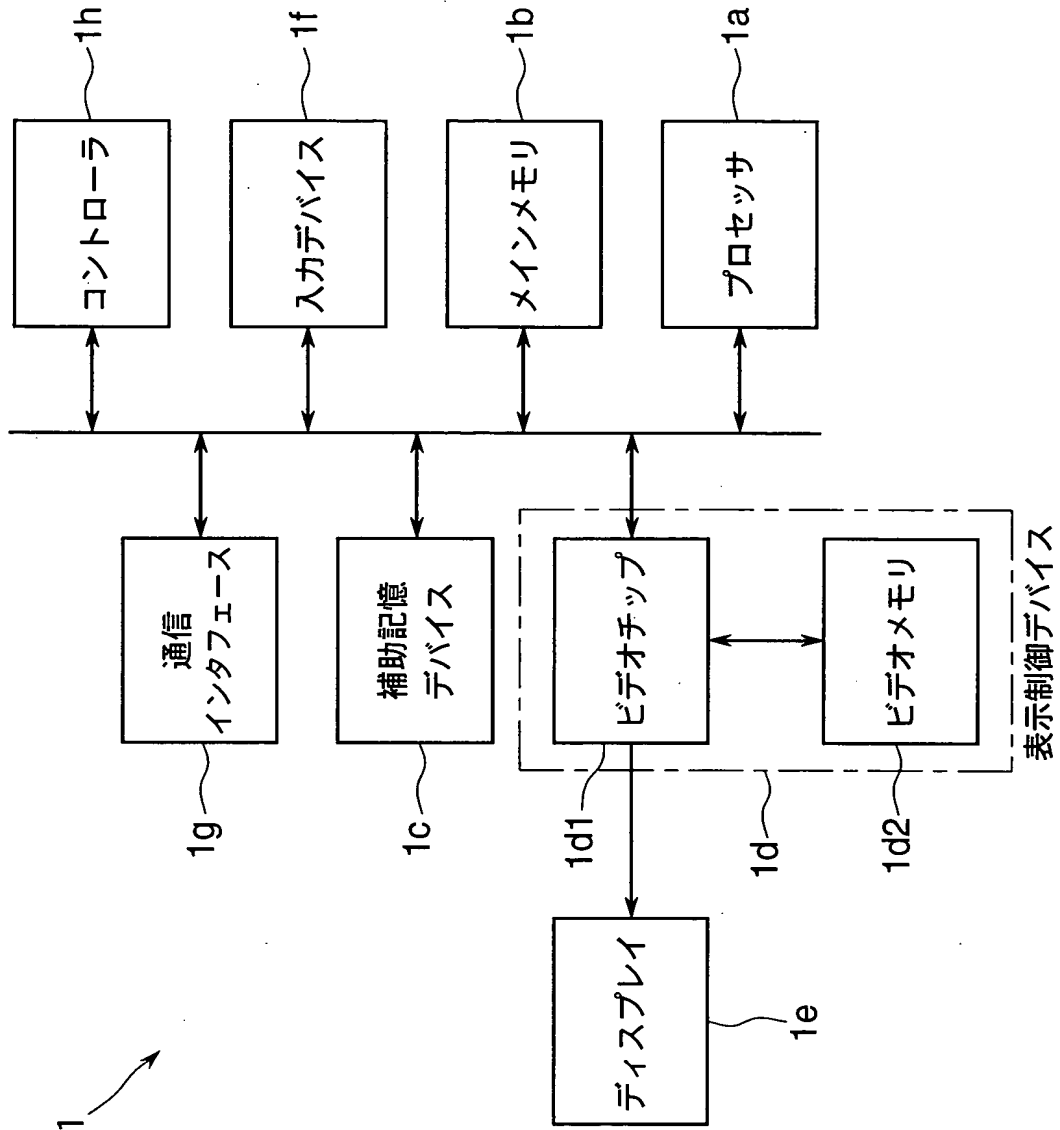


図10



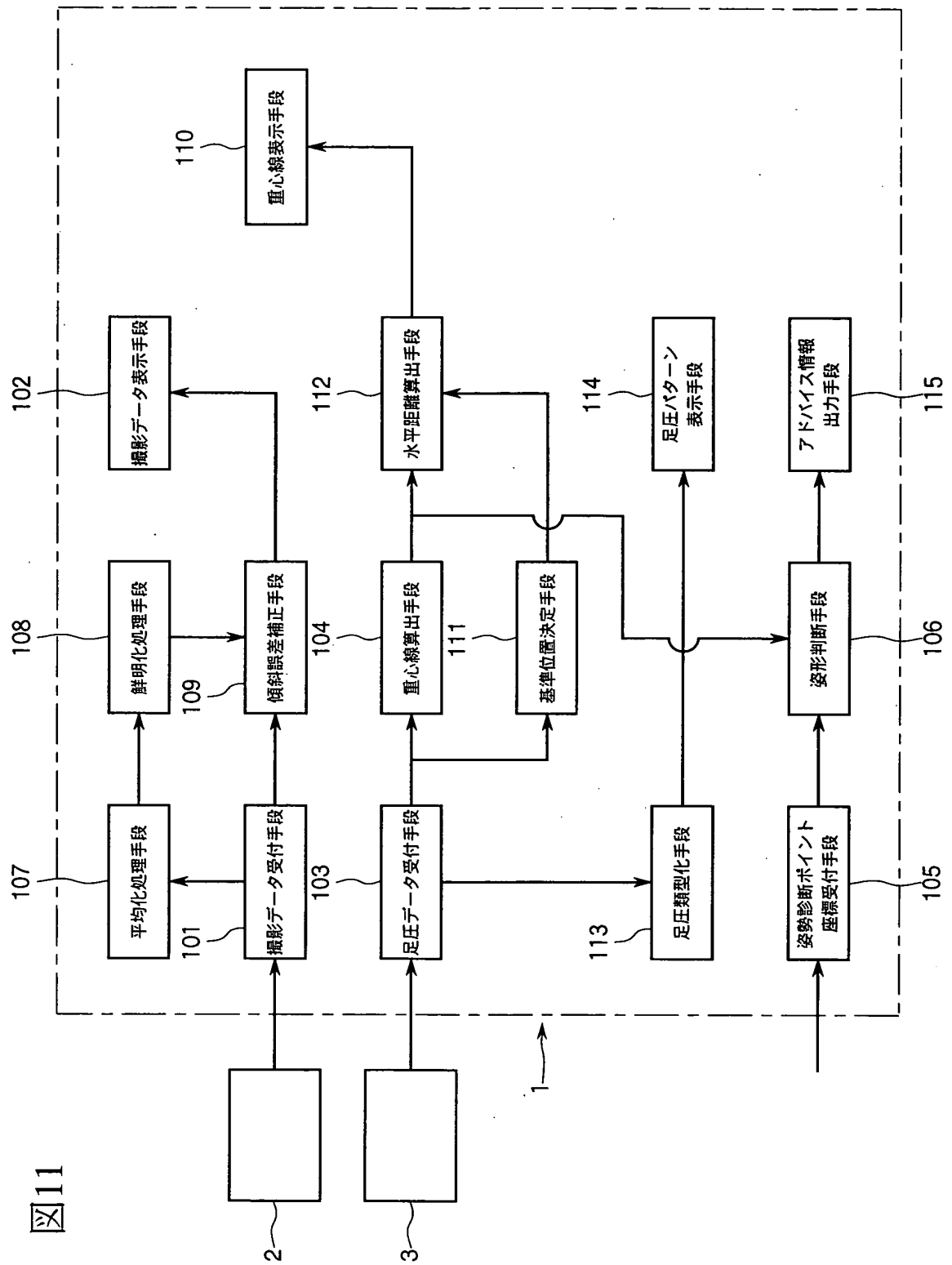


図12

i	ii	iii
iv	v	vi
vii	viii	ix

図13

◎発光しているときと、発光していないときを比べて、色の変化している境目の頂点座標を調べ、その座標の交点 $(x0,y0)$ を中心点とするそれぞれの発光体について、中心点を出し、3点を結んだ線の傾きを見る

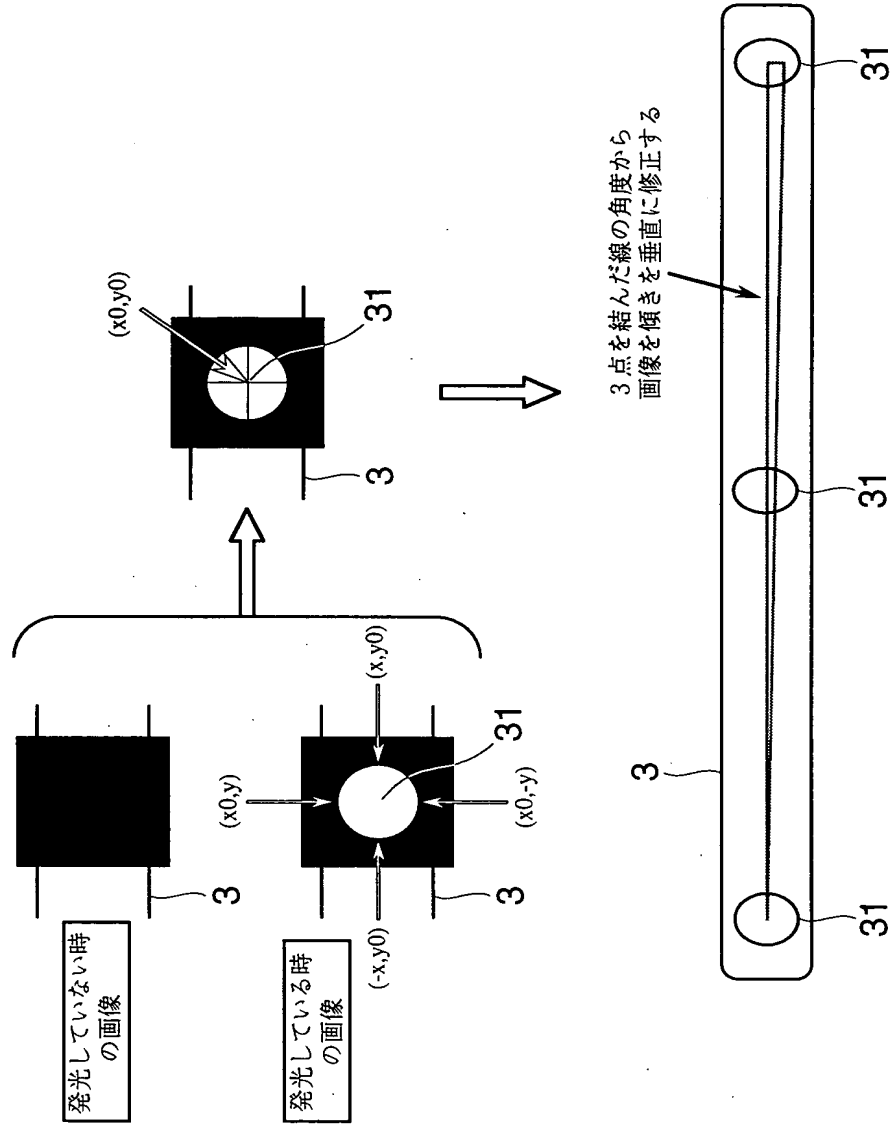
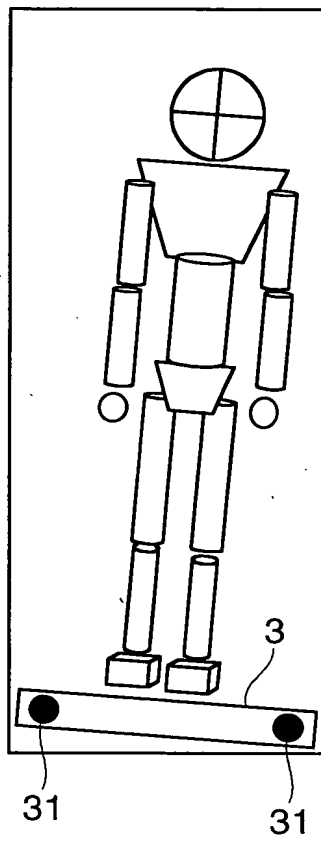
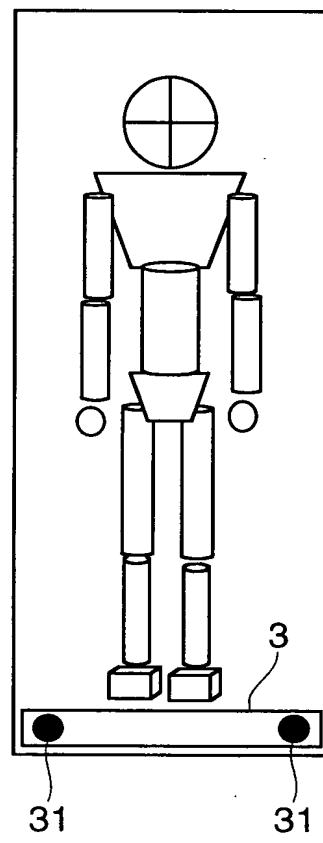


図 14

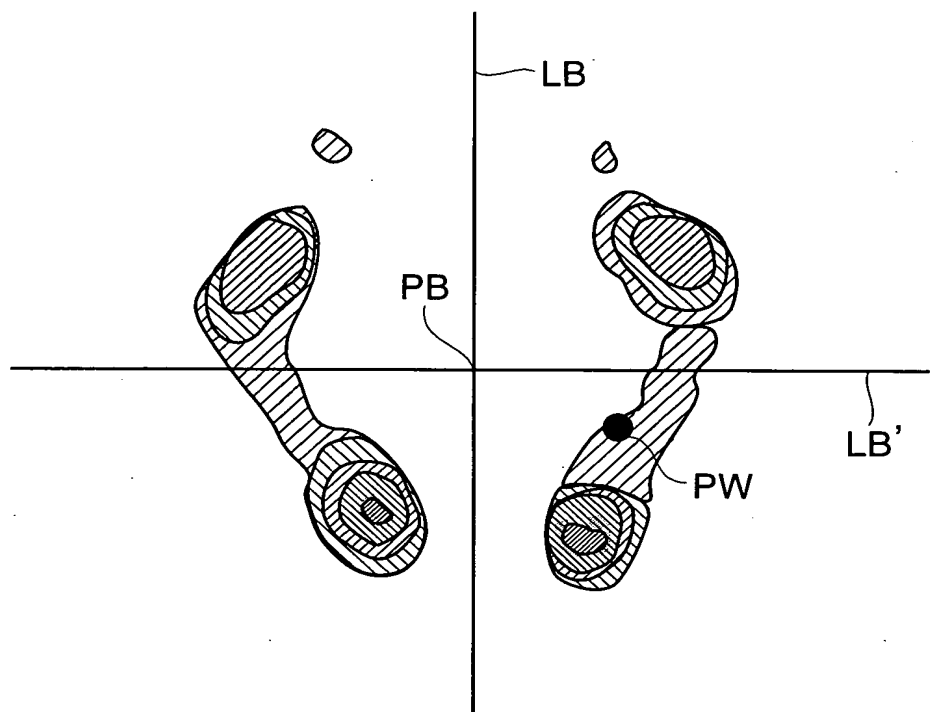


(a)



(b)

図15



◀ Pressure Scale ▶


Min  Max

図16

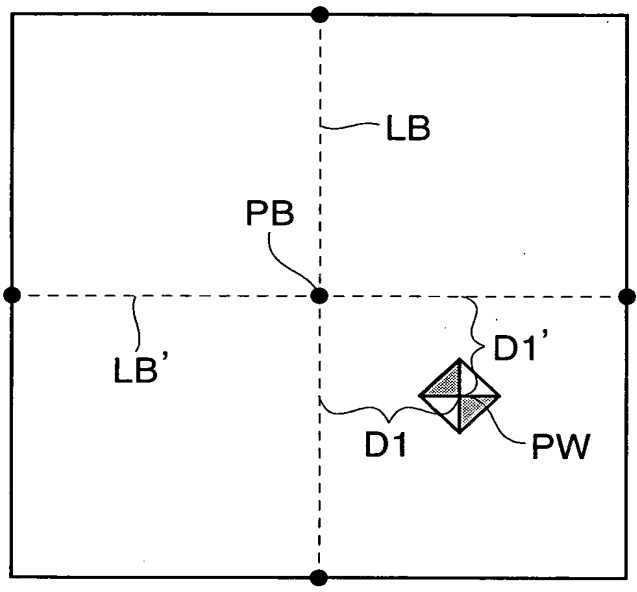


図17

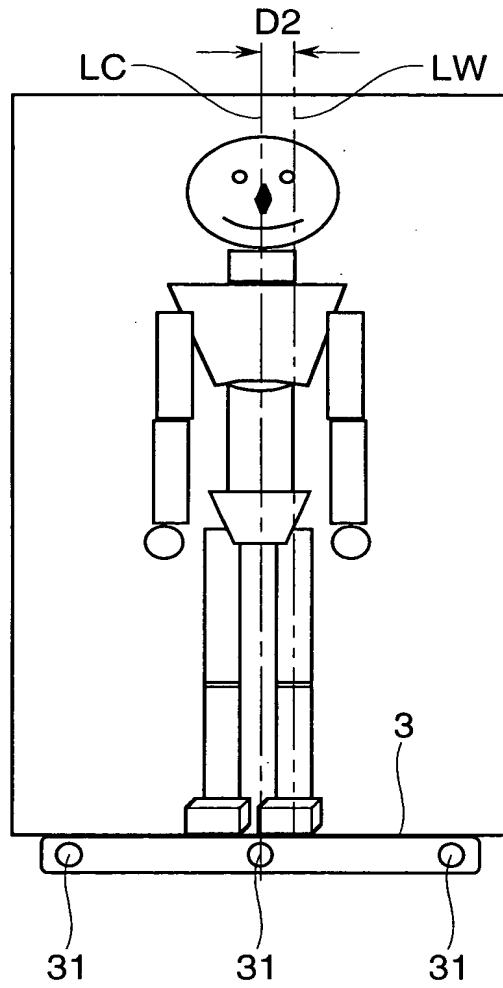


図18A

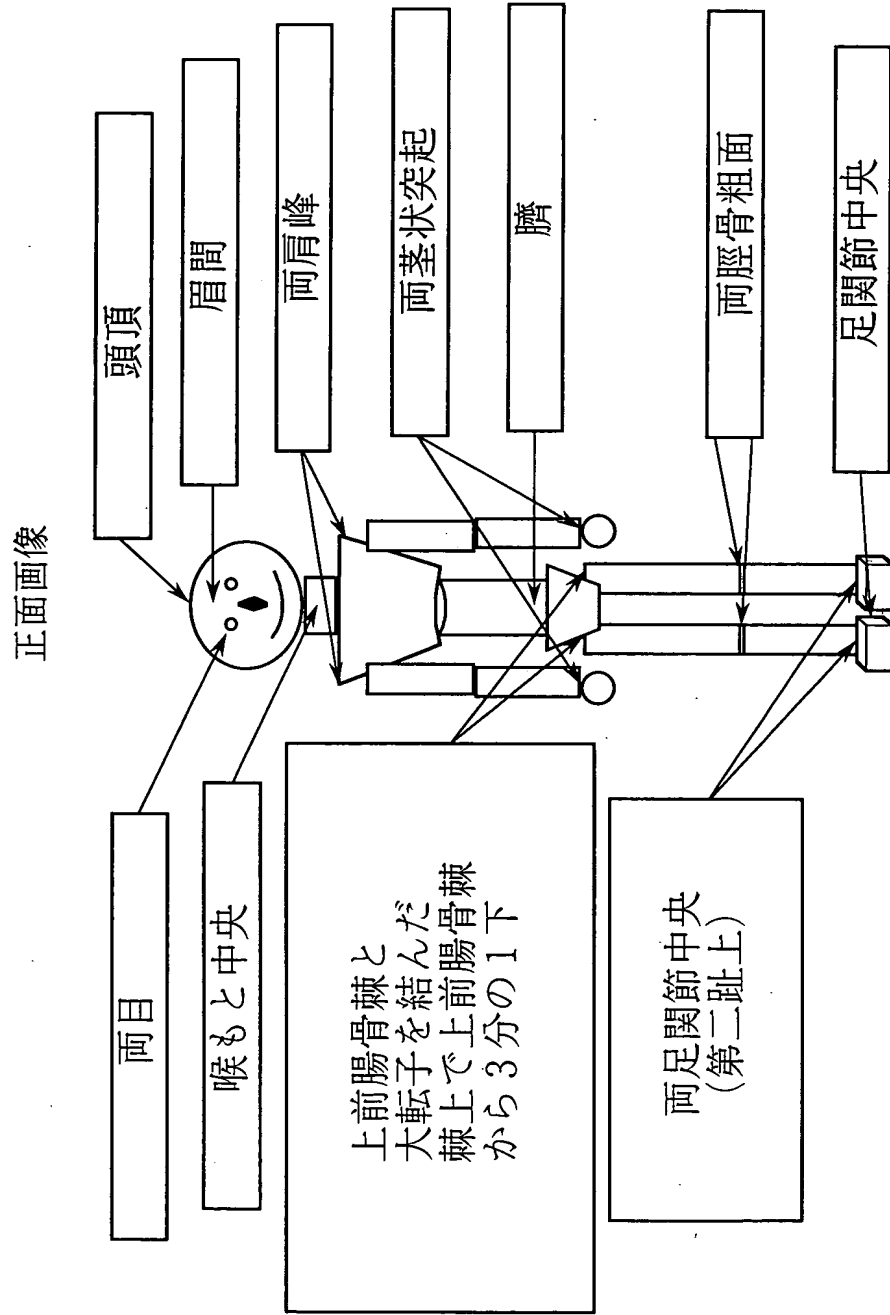


図18B

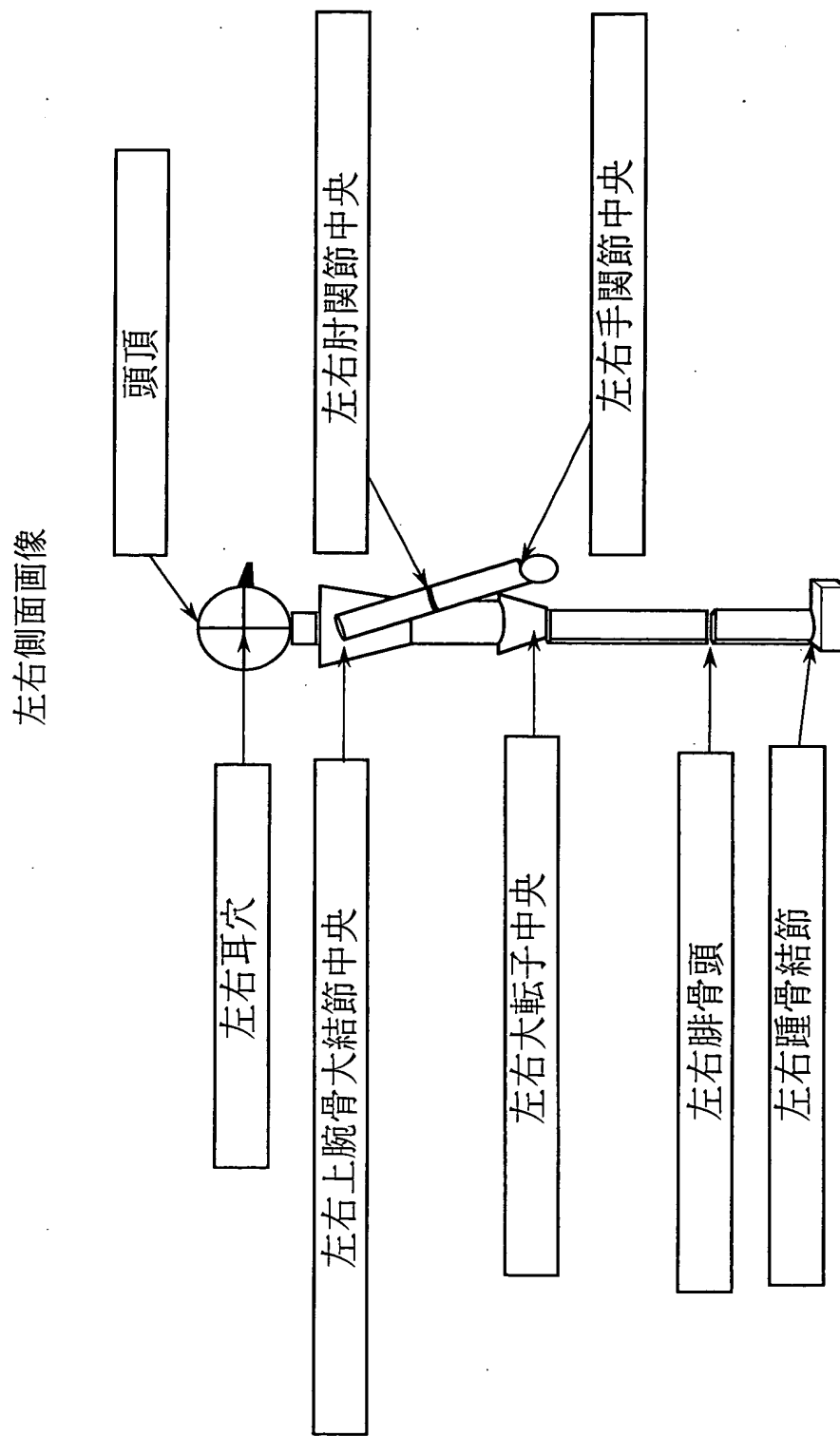


図18C

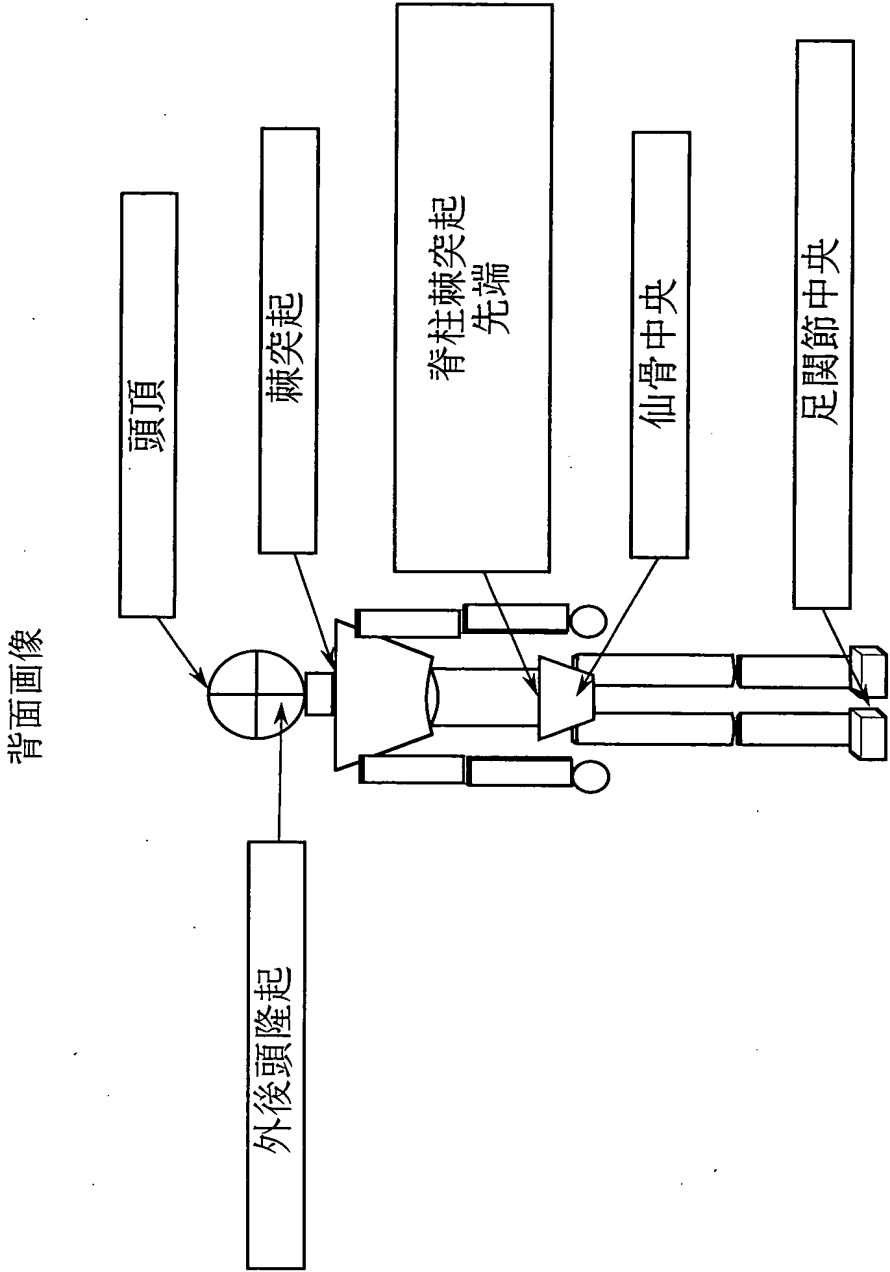
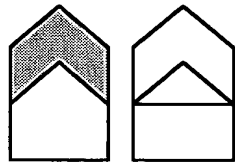


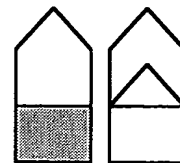
図19

(a)



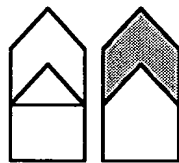
左前方荷重です。

(b)



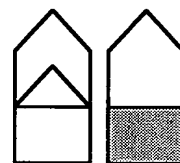
左後方荷重です。

(c)



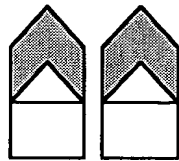
右前方荷重です。

(d)



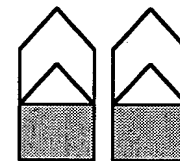
右後方荷重です。

(e)



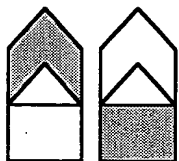
前方荷重です。

(f)



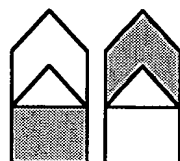
後方荷重です。

(g)



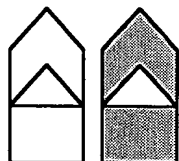
右後方回旋荷重です。

(h)



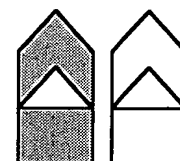
左後方回旋荷重です。

(i)



右側方荷重です。

(j)



左側方荷重です。

図20A

ひずみ	面	箇所	方向	略	判断基準
傾き	正面(水平)	頭	左	H3l	左右の耳穴(目)を結んだ線が左方傾斜※2
			水平	H3m	左右の耳穴(目)を結んだ線が重心線※1と直角に交わる
			右	H3r	左右の耳穴(目)を結んだ線が右方傾斜※3
		肩	左	H2l	左右の上腕骨小結節を結んだ線が左方傾斜
			水平	H2m	左右の上腕骨小結節を結んだ線が重心線と直角に交わる
			右	H2r	左右の上腕骨小結節を結んだ線が右方傾斜
	腰		左	H1l	左右の上前腸骨棘下部※4を結んだ線が左方傾斜
			水平	H1m	左右の上前腸骨棘下部を結んだ線が重心線と直角に交わる
			右	H1r	左右の上前腸骨棘下部を結んだ線が右方傾斜

※1: 重心線: 重心点より垂直に引かれた線である

※2: 左方傾斜: 左方が右方より下に位置する

※3: 右方傾斜: 右方が左方より下に位置する

※4: 上前腸骨棘下部: 上前腸骨棘と大転子を結んだ線上で上前腸骨棘から3分の1

図20B

ひずみ	面	個所	方向	略	判断基準
傾き	正面(垂直)	頭部	左	V3l	喉もと中央から眉間を結んだ線が左方傾斜
			垂直	V3m	喉もと中央から眉間を結んだ線が重心線と平行
			右	V3r	喉もと中央から眉間を結んだ線が右方傾斜
		体幹	左	V2l	臍から喉もと中央を結んだ線が左方傾斜
			垂直	V2m	臍から喉もと中央を結んだ線が重心線と平行
			右	V2r	臍から喉もと中央を結んだ線が右方傾斜
		下肢	左	V1l	足関節中央※5から臍を結んだ線が左方傾斜
			垂直	V1m	足関節中央から臍を結んだ線が重心線と平行
			右	V1r	足関節中央から臍を結んだ線が右方傾斜

※5: 足関節中央: 両足関節中央の中間点

図20C

ひずみ	面	個所	方向	略	判断基準
傾き	側面	頭部	前	S3f	上腕骨大結節中央と頭頂を結んだ線が前方傾斜
			垂直	S3m	上腕骨大結節中央と頭頂を結んだ線が重心線と平行
			後	S3b	上腕骨大結節中央と頭頂を結んだ線が後方傾斜
		体幹	前	S2f	大転子中央から上腕骨大結節中央を結んだ線が前方傾斜
			垂直	S2m	大転子中央から上腕骨大結節中央を結んだ線が重心線と平行
			後	S2b	大転子中央から上腕骨大結節中央を結んだ線が後方傾斜
		下肢	前	S1f	踵骨結節から大転子中央を結んだ線が前方傾斜
			垂直	S1m	踵骨結節から大転子中央を結んだ線が重心線と平行
			後	S1b	踵骨結節から大転子中央を結んだ線が後方傾斜

図20D

ひずみ	面	個所	方向	略	判断基準
捻れ		頭部	左	U3l	前額面※6を基準として、左の耳穴が、右の耳穴より後方にある
			なし	U3m	左右の耳穴を結んだ線が、前額面に対して平行である
			右	U3r	前額面を基準として、右の耳穴が、左の耳穴より後方にある
	上面	体幹	左	U2l	前額面を基準として、左の上腕骨大結節中央が右の上腕骨大結節より後方にある
			なし	U2m	左右の上腕骨大結節中央が前額面に対して平行である
			右	U2r	前額面を基準として、右の上腕骨大結節中央が左の上腕骨大結節中央より後方にある
		腰	左	U1l	前額面を基準として、左の大転子中央が右の大転子中央より後方にある
			なし	U1m	左右の大転子中央が前額面に対して平行である
			右	U1r	前額面を基準として、右の大転子中央が左の大転子中央より後方にある

※6: 前額面: 人体を前後に分ける面

図20E

ひずみ	面	個所	方向	略	判断基準
湾曲	正面	膝		HK0	右脛骨粗面が右足関節中央※7からの垂直線上にあり、左脛骨粗面が左足関節中央※7からの垂直線上にある
				HK1	右脛骨粗面が右足関節中央からの垂直線より右方にあり、左脛骨粗面が左足関節中央からの垂直線上にある
				HK2	右脛骨粗面が右足関節中央からの垂直線上にあり、左脛骨粗面が左足関節中央からの垂直線より左方にある
				HK3	右脛骨粗面が右足関節中央からの垂直線より右方にあり、左脛骨粗面が左足関節中央からの垂直線より左方にある
				HK4	右脛骨粗面が右足関節中央からの垂直線より左方にあり、左脛骨粗面が左足関節中央からの垂直線上にある
				HK5	右脛骨粗面が右足関節中央からの垂直線上にあり、左脛骨粗面が左足関節中央からの垂直線より右方にある
				HK6	右脛骨粗面が右足関節中央からの垂直線より左方にあり、左脛骨粗面が左足関節中央からの垂直線より右方にある
				HK7	右脛骨粗面が右足関節中央からの垂直線より右方にあり、左脛骨粗面が左足関節中央からの垂直線より左方にある
				HK8	右脛骨粗面が右足関節中央からの垂直線より左方にあり、左脛骨粗面が左足関節中央からの垂直線より左にある

※7:右(左)足関節中央:第二趾上

図20F

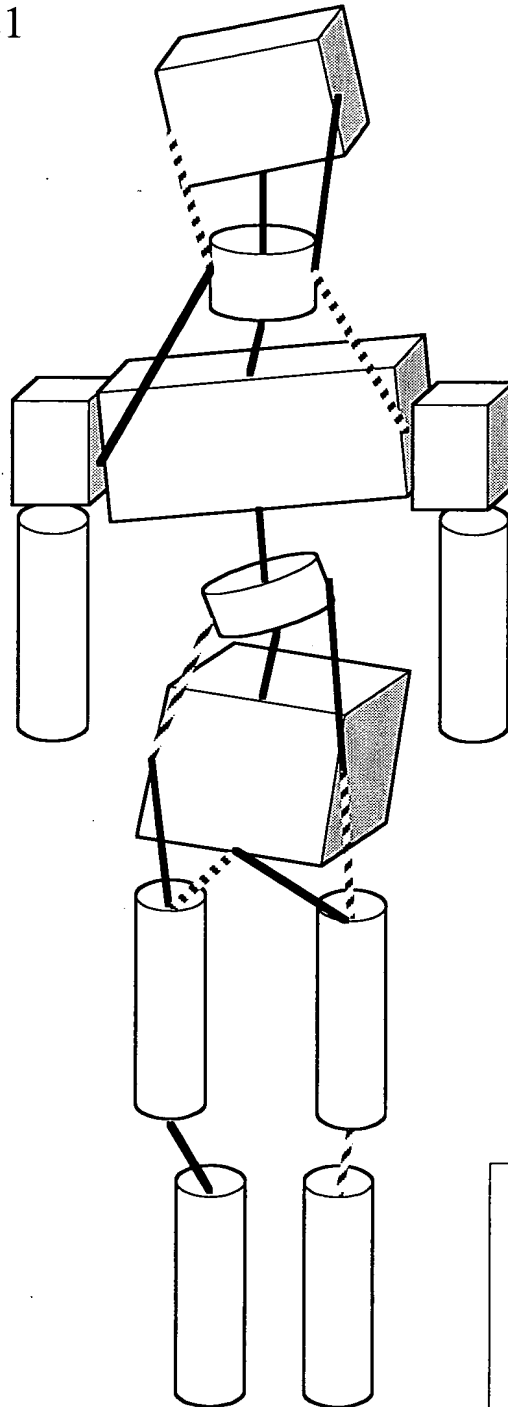
ひずみ	面	個所	方向	略	判断基準
湾曲	側面	膝		SK0	右大腿骨外側上顆前方が右踵骨結節からの垂直線上にあり、左大腿骨外側上顆前方が左踵骨結節からの垂直線上にある
				SK1	右大腿骨外側上顆前方が右踵骨結節からの垂直線上にあり、左大腿骨外側上顆前方が左踵骨結節からの垂直線より前方にある
				SK2	右大腿骨外側上顆前方が右踵骨結節からの垂直線上にあり、左大腿骨外側上顆前方が左踵骨結節からの垂直線より後方にある
				SK3	右大腿骨外側上顆前方が右踵骨結節からの垂直線より前方にあり、左大腿骨外側上顆前方が左踵骨結節からの垂直線上にある
				SK4	右大腿骨外側上顆前方が右踵骨結節からの垂直線より前方にあり、左大腿骨外側上顆前方が左踵骨結節からの垂直線より前方にある
				SK5	右大腿骨外側上顆前方が右踵骨結節からの垂直線より前方にあり、左大腿骨外側上顆前方が左踵骨結節からの垂直線より後方にある
				SK6	右大腿骨外側上顆前方が右踵骨結節からの垂直線より後方にあり、左大腿骨外側上顆前方が左踵骨結節からの垂直線上にある
				SK7	右大腿骨外側上顆前方が右踵骨結節からの垂直線より後方にあり、左大腿骨外側上顆前方が左踵骨結節からの垂直線より前方にある
				SK8	右大腿骨外側上顆前方が右踵骨結節からの垂直線より後方にあり、左大腿骨外側上顆前方が左踵骨結節からの垂直線より後方にある

◎正面水平方向の腰・肩・頭部それぞれの傾き、正面垂直方向の下肢・体幹・頭部それぞれの傾き、上面の下肢・体幹・頭部それぞれの傾き、膝の左右の湾曲、膝の前後の湾曲をそれぞれ略称であらわし、組み合わせ、姿勢のタイプをあらわす。

◎ひずみのないものを含めて54種類ある。

◎正面水平方向3種類の組み合わせ27タイプ、正面垂直方向3種類の組み合わせ27タイプ、上面3種類の組み合わせ27タイプ、膝正面8タイプ、膝側面8タイプ。

図21



凡例

伸張 —————

収縮 - - - - -